

常緑／多年草／地被類等／シダ植物
／在来種・外来種



科名 ツルシダ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通
草本扱い（保証の観点より）

伊豆半島以西に自生する在来種と、東南アジアなど亜熱帯に分布し観葉植物として流通するタマシダがある。海岸沿いの斜面などに自生。樹上にも着生し、カナリーヤシの葉の間に着生している姿をよく見かける。地上の葉は立ち上がるが、樹上では枝垂れるように葉をつける。



Memo

国内に自生するタマシダは、匍匐（ほふく）枝に球状の塊茎をつけることからタマシダと呼ばれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期												
🍒	果実												
🍁	紅葉												
🌱	施肥	(春先に緩効性肥料を少々)											
✂️	剪定	(古い葉の切除)											

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾	○	○	○	湿
寒さ	強		○	○	弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

暑さや潮風には強いが、寒さに弱い。葉は30～40cmほど。夏の日差しは葉焼けを起こしやすいので、寒冷紗などで遮光をするとよい。表土が乾いたら水を与え、湿気を好むので葉にも散水する。

剪定

古葉や枯れた葉を切除する。繁茂し過ぎたら、葉の本数を間引きして風通しを確保すると、見栄えもよくなる。カビなどの発生予防にもなる。緩効性肥料を与え、葉水をすると葉を美しく維持できる。

病虫害

虫害は、アブラムシ、ハダニ、ナメクジ。病害は、すす病（アブラムシの排せつ物に発生する）、炭疽病（葉や茎に褐色の斑点が発生する。病葉を取り除き風通しを確保する）。